

平成 21 年 12 月 2 日

電子経済産業省アイデアボックスの実施と霞が関クラウドへの期待

経済産業省

電子経済産業省アイデアボックス概要

- 国民が、電子政府についてインターネット上で直接意見交換しながら考える投票機能付対話型掲示板「電子経済産業省アイデアボックス」を、平成 21 年 10 月 14 日から 11 月 24 日まで、実験的に実施した。



- 閲覧回数が約 70 万回、1000 人以上が登録し、456 のアイデア、1250 コメント、7041 回の投票が行われる等、活発に議論が行われた。

霞が関クラウドに関する意見

- 霞が関クラウドをはじめ、政府の基盤統一に関する意見も多数寄せられた。
- 意見は全般的に霞が関クラウドの推進を後押しするものである。基盤統一による効率化、ベンチャー企業の育成などの指摘がされている。
- 自治体へのサービス提供など、霞ヶ関クラウドと自治体クラウドを統合した意見も寄せられた。また、サーバーの設置位置を国内にして欲しいや推進組織を作るべきなど、運用に関する課題も指摘されている。

意見の例

- 「ぜひ、霞が関クラウド構想を時間をかけず、国民に利益のあるよう効果的に進めていただければと思います。」
- 「基本となる電子政府のインフラ部分は共通化し、実際に利用する利用者は統一されたポータルシステムにアクセスしてから個々の手続きに進むという形にすれば、接続、認証部分などは共通のものを使えたはずである。」
- 「置き場所とか、電気代とか休日のお守りとかなどまで面倒見てくれないし・・・霞ヶ関クラウドとかやるのなら、システムを現場に置かないで、端末だけ置くようにしてほしい。システムごと置くとお金も手数もかかるんです。」
- 「政府主導のパブリッククラウドを公開し、「インフラ」という大きなハードルをベンチャー企業、はたまた学生に超える機会を与える事で、より多くの技術者が未来のサービスの形である「クラウド」に触れ、世界に先駆けた技術の研鑽を行う事が出来るのではないかと考えました。」
- 「クラウド・プロバイダを、官公庁や自治体が共通に使える基盤として設計・構築・運用するのはどうでしょうか？ このクラウドは、どこの省庁でもどこの都道府県や市町村自治体でも使えるように、共通の SaaS が用意されていて、SaaS に対応できない要件に対しては、共通の PaaS 上に作りこめるようにします。国民全員のデータが、そのクラウドに一元化され、省庁や自治体は、サービスを提供するために、必要な個人のデータにアクセスできるようになっています。官公庁や自治体を持っている莫大なインフラやプラットフォームをすべて共通化できるだけでなく、SaaS 化されたアプリケーションも大部分は共通です。また、新しい要件が出てきても、インフラ、プラットフォーム、国民データが官公庁や自治体をまたぐ基盤として出来上がっているので、PaaS 上にアプリケーションを作りこんで、迅速な SaaS 化が可能です。」
- 「今後、霞が関クラウド等の各省庁間で共通に利用する情報基盤の導入やより国民サイドに立った IT 政策の導入を本気で行うのであれば、各省庁が必要としている施策等をより高所から検討し、各省庁が行うべきことの整理や各省庁が要求している IT 関連予算を一括して召し上げ、必要に応じて再配分を行うことができるほどの強力な力をもった組織が必要ではないか。」
- 「クラウド・ベースの IT 調達サイト「Apps.gov」を開設」
- 「サーバーは設置国の法律に基づいて運用されると理解しています。サーバー設置国の情勢が変化した場合の情報漏洩や盗用のリスクが存在する以上、国の行政に関わる電子政府のデータを保存するサーバーは国内設置であることが義務付けられることを要望します。」

以上